



詫間中学校支持率は・・・？

今から10日前、世論調査による内閣支持率が急落したことが報道されました。尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件やロシア大統領の北方領土訪問を巡る政府の対応への不満など、外交面での低い評価が支持率低下につながっているようです。また、最近では、大臣の不適切な発言が大きな問題となっています。

さて、これを詫間中学校に置きかえてみましょう。詫間中学校の支持率を計るものとして、体育祭や合唱コンクールなどの地域に開かれた行事における様子や、学期末に行っている保護者評価、学校評価委員による評価などがありますが、地域の人々がどのように思っているかはなかなか伝わってきません。

先週、交通マナー以外で2件の電話がありました。下校途中の小学生への声かけと民家のガラス破損です。どちらも本校生徒であるとは断定できませんが、情報をいただいた方に直接うかがったり、その方面に帰る中学生に話を聞いたりした状況から総合的に判断すると、本校生徒である可能性があります。どちらも、故意にやったものではなく、軽はずみで行った行為かもしれませんが、中学生として許される行為ではありません。また、この他にも、中学生が夜遅く外出していて注意を受けたという情報も数件伝わってきました。詫間小学校のグラウンドでサッカーをしている中学生の蹴ったボールが、よく南側(旧道側)に飛び出してきて困っているという情報も寄せられました。

本年度、このようなことは、ほとんどありませんでした。体育祭や合唱コンクールなどの素晴らしい演技や合唱から伝わった詫間中学校のよさが、ほんの一部の人のよからぬ行動でイメージダウンするおそれもあります。もちろん、交通マナーなどもこれに当てはまります。(詫中生は「自転車の一列通行ができていて気持ちいい」「自転車が2列も3列にも広がってすれ違ってよけてくれない」のどちらでしょうか?)

みなさん一人一人は、詫間中学校の“外交官”です。詫間中学校のイメージを地域に伝える重要な役目があります。その責任の重さを感じてください。また、校外での行動は、常にだれかに見られています。友達、地域の方々・・・、そして何より“もう一人の自分”がしっかりとあなた自身を見えています。していいことと悪いこと、しなければならぬことはわかっているはずですが、詫間町の将来を担う一人の人間として、『詫間子ども宣言』を思い出し、社会のルールやマナーが守れる中学生であってほしいと思います。

学校評価委員の声

【体育祭】

- ◆先生方の団結力を感しました。生徒と共に取り組んでいる絆を感じました。
- ◆テーマ「来夢～輝ける場所へ全力疾走～」のとおり、生徒・先生の全体が一体となつての見事なチームワークを見せていただきました。
- ◆一生懸命に取り組む姿が大変よく、演技に花がありました。
- ◆厳しい暑さの中で練習した成果が、生徒のたくましさや自信あふれる演技・態度としてよく表れていました。
- ◆今年の猛暑の中で、生徒たちはよく頑張つて自分自身の達成感を味わつたと思う。それにも増して、体育科の先生方のがんばりはよかった。地域の人々も、とてもよい体育祭だったと好評である。

【合唱コンクール】

- ◆各クラス、この日に向けて朝練や放課後に練習した成果がよく出ていて、素晴らしい合唱コンクールでした。先生方の合唱もよかったです。
- ◆素晴らしい合唱でした。拍手・・・。来年はマリンウェーブでやってほしいです。

【学校訪問】

- ◆落ち着いた学習できていました。タートルノートへの取り組みがすばらしいと思いました。
- ◆先生一人一人が生徒に対して勉強を楽しくわかりやすくするために工夫している様子がわかりました。生徒と先生方の笑顔が目につかびます。

【その他】

- ◆「詫中ターゲット10」のように、数値目標を掲げ、全校生徒が具体的な共通認識を持って切磋琢磨できていることは素晴らしい。
- ◆松崎地区の中学生は朝早くから立哨している私の前を元気に登校しています。自転車で一列でヘルメットをきちんとつけ、大きな声であいさつをして通っています。とても気持ちがいいです。元詫中教師として大変うれしいです。